

## Topics from Within

### 21GHz 帯放送衛星によるスーパーハイビジョン放送の可能性を展示 ～平成 18 年度 NHK 技研公開の展示から～

NHK 放送技術研究所

平成 18 年度の NHK 技研公開が 5 月 25 日から 28 日まで開催されました。

60 回目を迎える平成 18 年度の技研公開は、「確かな技術が、未来の放送を拓く」というテーマで、「究極の高臨場感システムの実現」、「高度コンテンツ制作・機動的報道システムの実現」、「ユビキタス・ユニバーサルサービスの実現」に向けた最新の研究成果やデジタル放送の展開、及び研究成果の社会への還元などについて 30 項目の展示が行われました。

[<http://www.nhk.or.jp/strl/open2006/index.html> 参照]

衛星関係の展示として、スーパーハイビジョンの番組を各家庭に伝送するために、24Gbpsのスーパーハイビジョン信号を効率的に符号化・圧縮する技術と、その圧縮信号を全国に伝送する 21GHz帯衛星放送システムの研究成果が紹介されました。展示では、開発した符号化装置で圧縮した信号を、21GHz帯放送衛星に用いる 21GHz帯TWT\*を経由して伝送実験を行い、衛星によるスーパーハイビジョン放送の可能性を示しました。

\* SJR No.41 June/July 2005 で紹介



スーパーハイビジョン放送の展示



21GHz 帯 TWT